

社会インフラの防災と 危機管理を考える

～東日本大震災から学ぶ九州の高速道路の安全性～

2011年3月11日に東日本を直撃したマグニチュード9.0という未曾有の

大地震と大津波、それに伴う福島第一原発の放射能漏出事故…

多数の尊い人命とともに、人々の生活そのものが奪い取られました。

東日本大震災で受けた人命や経済損失とともに、日本の安全神話の崩壊と

政治・社会への信頼失墜はきわめて大きいといえます。

台風や大水害、火山噴火などの自然災害の多発する九州における

高速道路などの社会インフラの安全性は大丈夫でしょうか？

この機会に、社会インフラの防災と危機管理について考えてみませんか。

多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

日時/2011. 6. 13(月) 13:00～ 場所/JR博多シティ大会議室10階

*主催/九州大学、共催/西日本高速道路(株)

後援/(社)土木学会 西部支部、(社)地盤工学会 九州支部、(社)日本コンクリート工学会 九州支部、(社)九州橋梁・構造工学研究会

*参加費/無料

*プログラム/

13:00～13:05 開会/挨拶: 日野 伸一 氏 (九州大学大学院 工学研究院長)

第1部

13:05～14:35 特別講演: 「西日本における地震防災の在り方」

土岐 憲三 氏 (立命館大学 教授)

14:35～14:50 休憩

第2部

14:50～15:40 講演1: 「東日本大震災における高速道路の被災状況と対応」

川添 卓司 氏 (東日本高速道路(株)建設事業本部 建設部長)

15:40～15:55 講演2: 「NEXCO西日本の防災に対する新たな取り組み」

角田 直行 氏 (西日本高速道路(株)保全サービス事業部長)

15:55～16:15 講演3: 「東日本大震災の教訓」

大塚 久哲 氏 (九州大学大学院 教授)

16:15～16:35 講演4: 「地理情報システム (GIS) を活用したのり面防災」

三谷 泰浩 氏 (九州大学大学院 准教授)

16:35～16:40 閉会/挨拶: 岸 洋正 氏 (西日本高速道路(株)執行役員 技術本部長)

*定員/150名

*継続教育 (CPD) プログラム/3.4単位認定

*申込/事前申込が必要です。参加ご希望の方は、下記申込先までご連絡ください。

*問合せ・申込先/

問合せ先: 九州大学 江口 (TEL:092-802-3893) または谷口 (TEL:092-802-3391)

申込先: 九州大学 江口 (e-mail:sympo2011@doc.kyushu-u.ac.jp または FAX:092-802-3391)

※参加者の氏名・所属・電話番号・FAX番号・メールアドレスを記載のうえ、メールかFAXにてお申込みください。

※申込〆切は6月6日(月)とし、定員になり次第締め切ります。

※受付完了後に受講者へはメール又はFAXにて参加証をお送りしますので、当日受付にご提出ください。

※上記プログラムは、変更する場合がございます。



土岐憲三 氏



◆JR博多駅周辺地図

(JR博多シティ10階レストランフロア南側の大会議室)



◆特別講演者プロフィール
土岐 憲三（とき けんぞう）
立命館大学 教授／立命館大学 歴史都市防災研究センター長

1938年生まれ。1966年京都大学大学院工学研究科土木工学専攻 博士課程修了。
1976年京都大学防災研究所教授、1993年京都大学工学部教授。1997年同大学院工学
研究科長兼工学部長、2001年京都大学総長補佐、2002年立命館大学理工学部教授、
2003年同歴史都市防災研究センター長、2004年同総長顧問。

中央防災会議専門委員、内閣府東南海・南海地震等に関する専門調査会座長などを
歴任。自然災害学会会長、日本地震工学会会長などを歴任。

国土庁長官、通商産業大臣表彰受賞、地震防災ならびに文化遺産防災についての
功勞に対し内閣総理大臣表彰受賞。

FAX送信用紙

お名前（代表者）	
所 属 名	
電 話 番 号	
F A X 番 号	
メールアドレス	
参加合計人数 （代表者を含む）	
参 加 す る 方 の お 名 前	